

2023年12月26日

弘前大学学長 福田眞作様

弘前大学職員組合
執行委員長 長谷河亜希子

業務・労働環境改善に関する要望書(3) 年俸制について

職員組合では、2023年7月～8月にかけて、文京キャンパスに勤務する教員に対しアンケート調査を行い、大学に改善を求めたい雇用条件や職務内容等について意見を聞きました。アンケート結果に基づき、下記のとおり要望致します。

現状、学部によっては、若手教員が3年も経たずに他大学に次々と移っていくという状況にあり、弘前大学に残るといった選択をした教員が疲弊しきっています。弘前大学は、本州最北端の豪雪地帯に位置する地方国立大学で、給与も低いという点のみを取り出してみても、人材獲得競争において大変不利な立場に置かれています。それに加えて、研究時間は減少傾向にあり、教育・地域貢献等の負担は重くなる一方、在外研究のチャンスもない等々の状況が積み重なり、若手・中堅の心中では、今後に関して強い不安と不満が積み重なっています。今回のアンケートでは、教員たちから、弘前大学が長く勤務したいと思う大学となることを願って、様々な意見が寄せられました。なお、今回、多数の要望を提出しておりますが、その点との関係で学長説明会を久々に開催してほしいとの意見も多数あったことを付け加えさせていただきます。

項目が多く申し訳ありませんが、回答できる項目から随時、文書で回答をお願いします。

年俸制に関して、以下のとおり要望致します

- ① 公務員給与の増額がされて、我々の給与が増加された場合には、年俸制の給与額も同様に増加してください。年俸制の職員の年俸のみを据え置くという差別的扱いをするのであれば、その理由を教えてください。
- ② 年俸制の詳細が分からないという声が当事者から寄せられています。どの手当が年俸に含まれているのか、年俸制の場合でも付くはずの手当てなど、年俸制の対象者にわかるよう周知をお願いします。
- ③ 希望すれば、年俸制をやめることは可能か否か、お知らせください。以前、教授昇任時に、年俸制へ変更するか否かの意向確認をしていたことがありました。そうであれば、逆に、年俸制をやめることも可能でしょうか。可能であれば、周知願います。

以上